

もっと知りたい、健康のこと。

静岡赤十字病院広報誌

2023年・新春号

vol.365

|季|刊|発|行|

# 日赤News

しずおかクロス NAVI

外来患者アンケート集計結果のご報告

ほっとニュース

呉服町名店街・静岡伊勢丹・  
日赤合同総合防災訓練に参加しました  
日本赤十字社第2ブロック支部  
総合訓練に参加しました



[特集]

頭痛に悩む生活は当たり前ではありません

## 片頭痛は「治す」から 「予防」の時代へ

健診センターからのお知らせ  
人間ドックを受けてみませんか

information

点字版「日赤News」が誕生しました

表紙には当院で働くスタッフが毎月登場します。本紙の取材・撮影は感染症対策に十分配慮して行っています。



注目の  
トピックス

今号のテーマ: **片頭痛**

頭痛に悩む生活は  
当たり前ではありません

# 片頭痛は 「治す」から 「予防」の時代へ

日本人にはとても身近な片頭痛。それだけに「たかが頭痛ぐらい…」と市販薬を使ってこらえている人も多いよう。当院ではこうした状況を変えるべく、2022年10月より脳神経内科 今井部長を中心に頭痛センターを開設。最先端の治療法と共に、より多くの患者さんの悩みに応えます。

—まずあらためて、片頭痛について教えて下さい。

**今井** 頭痛は、原因のない痛みが繰り返し起こる一次性頭痛と、他の病気が原因で起こる二次性頭痛に大別されます。慢性頭痛である一次性頭痛には、頭全体が締め付けられるように痛む「緊張型頭痛」、頭の片側がズキズキと拍動するように痛む「片頭痛」、片目の奥や側頭部に激的な痛みを発する「群発頭痛」に大別されます。

**守屋** このうち片頭痛は月に数回の頻度で発作的に起こるもので、日本人の有病率は8・4%。特に20〜40代の女性に多くみられる病気です。仕

事や家事が手につかず、ひどくなれば吐き気や嘔吐など日常生活に支障をきたすこともあるのですが、本人にとって日常的なものになっていることから市販薬を飲んで耐えている方が多く、また周囲からも「たかが頭痛」と軽視されているケースも少なくありません。市販薬も正しく服用していればよいのですが、自己判断による薬剤の使用過多は逆に頭痛を引き起こすため、薬物治療には医師による適切な指導が必要です。

—頭痛センター開設の経緯について教えていただけますか。

**今井** もともと当院では慢性頭痛に対して「片頭痛発作の発症抑制外来」「群発頭痛外来」「薬剤の使用過多による頭痛外来」を設けて対応してきました。しかし慢性頭痛の患者数はとても多く、頭痛専門医による外来だけでは対応しきれません。また、昨年より片頭痛の特効薬というべき新薬が相次いで登場、治療そのものも大きく変わりつつあります。そこで当院ではより多くのお悩みに応えるべく、慢性頭痛に対する治療体制を拡充。これまで治療の主体となってきた今井と頭痛専門医である守

屋、さらに頭痛専門医を目指す医師2名の4名体制となったことで、より多くの患者さんに対して適切な治療が提供できる体制になりました。

—当センターの強みや特徴的な治療にはどのようなものがありますか。

**今井** 第一に、頭痛専門医が診断と治療にあたること。豊富な症例と経験から、ひとりひとりに最適な治療法を提供できることがあげられます。また当院は救急科や脳神経外科も備えた総合病院ですから、生命を直接脅かす二次性頭痛に対しても対応できる。一刻を争う処置に迅速に対応できること、さらに看護師や薬剤師などコメディカル体制が充実していることも強みといえます。

## 新薬による予防治療では8割に効果が。慢性頭痛は予防できる時代になってきています。



頭痛センター センター長  
脳神経内科部長

**今井 昇**  
(日本頭痛学会 専門医)

長年に渡り、静岡全域での頭痛医療連携の構築に取り組んできた頭痛のスペシャリスト。2020年には執筆論文が日本神経学会の英文雑誌 Neurology and Clinical Neuroscienceのトップ10に選ばれるなど、その研究には国内外から視線が注がれている

ます。

**守屋** また、先に挙げた新薬による片頭痛治療も積極的に推進しています。これは、片頭痛の原因となる物質・CGRP(カルシトニン遺伝子関連ペプチド)を無力化させる、または受け取る受容体をブロックする薬剤を1ヶ月に1度、あるいは4週間に1度注射することで発作を起りにくくするもので、昨年4月に認可が下りた「エムガルテイ」、8月に認可が下りた「アイモビーグ」「アジヨビ」の3種類があります。  
**今井** 「エムガルテイ」は、オドリーの若林さんが治療を受けたことで話題になりましたよね。当院でもすでに200人以上の患者さんに投与、うち8割の方がはつきりした効果を感じている。発症の頻度



頭痛センター スタッフ  
脳神経内科医師

**守屋 麻美**  
(日本頭痛学会 専門医)

静岡県吉田町出身。「問診・所見を通じてほぼ正確な診断ができる奥深さに惹かれて」脳神経内科の道へ。休日はもっぱら家族と過ごすそう。「2歳になる長男はおしゃべり上手。一緒にいるだけで楽しく、癒されます」

## 慢性頭痛の辛さは本人以外にはわかりにくい。周囲の人が治療や症状を理解し、協力することも大切。

が下がるだけでなく痛みの程度が軽くなるなど、症状の軽減は明らかです。

**守屋** 注射1回分の治療費は14000円から15000円とややかさみますが、頭痛から解放されることでQOLが劇的に高まることを考えたら十分納得できるとの声はとても多く聞かれます。

—最後におふたりからそれぞれメッセージを。

**守屋** 慢性頭痛は我慢している人がとても多い病気です。特にお子さんは、辛い症状に苦しんでいるのを、周囲に「怠けている」と誤解され、非難されることもある。慢性頭痛の辛さは本人以外にはなかなかわからないものですが、周囲の方もぜひこ

うした治療を理解し、協力していただきたいです。

**今井** 当院は日本頭痛学会認定の地域頭痛教育センター・教育施設に指定されている東海地区の頭痛医療の拠点のひとつ。専門医として小児・思春期の頭痛性疾患にも対応しますし、必要に応じて入院治療も行うなど幅広い症状に対応しています。また、県内・市内で頭痛診療に熱心に取り組もうとしている診療所も数多くあります。私たちは、こうした医師の皆さんと協力することで、より充実した頭痛診療をできるだけ広く提供したいと考えています。頭痛に悩む生活を当たり前のことだと思わず、ぜひかかりつけの先生に相談してみてください。

## 表紙を飾った静岡赤十字病院スタッフ

病棟看護師長  
(後列左から)鈴木知代さん 繁田敏恵さん 植松知子さん  
(前列左から)佐藤みつ子さん 梅原佳代子さん 高橋涼子さん



入院患者さんの治療を支える病棟看護師を管理職として束ねているのが各病棟の看護師長。年代や経験の異なるスタッフをまとめる業務は責任も重く、難しそうですが「同じ看護師同士、目指す志もひとつですから」「それぞれの個性を生かすのが私たちの仕事」とにっこり。さすがです!

## INFORMATION

### 人間ドックを受けてみませんか

健康は本人だけでなくご家族にとっても大切な財産。自身の健康状態の客観的な確認に、大いに役立つのが人間ドックです。当院健診センターでは現在2~4月限定の健康診断コースの予約を受付中。詳しくはwebサイトをご覧ください。

●人間ドック、健康診断の予約・お問合わせ  
☎054-253-8732(健診センター直通)





## 呉服町名店街・静岡伊勢丹・日赤合同総合防災訓練に参加しました

去る10月6日、「静岡市を震源とする震度6強の地震、および静岡伊勢丹にて地震による火災が発生」との想定において、呉服町名店街、静岡伊勢丹との合同総合防災訓練が開催されました。

この合同防災訓練は2019年までは毎年実施されていたもの。新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度まで中止されていましたが、今年度は3年ぶりの訓練となりました。当院からは呉服町名店街の要請により災害救護班1個班を派遣し、札の辻クロスホール内で負傷者のトリアージや治療にあたりました。

市内中心部にあり、また名店街に隣接している当院は、近隣地域に果たす役割も重要であると考えます。いざという時に迅速に対応できるよう基本行動の確認を行うとともに、今後も名店街や百貨店、消防署、警察署などとの連携強化を図ってまいります。



## 日本赤十字社 第2ブロック支部総合訓練に参加しました

日本赤十字社では毎年、広域的な災害救護活動の強化を目的としたブロック支部ごとの総合救護訓練を行っています。

今年度は神奈川県秦野赤十字病院にて11月19,20日の2日間にわたる訓練を実施、当院も近接県に位置する赤十字病院として参加してきました。その他にも「静岡県支部・県内赤十字病院合同災害救護訓練（10月15日、県内各赤十字病院）」「緊急消防援助隊全国合同訓練（11月13日、富士市）」「中部ブロックDMAT実働訓練（11月26,27日、石川県）」に参加。今後も実践的な広域支援活動の連携協力を図ってまいります。



## INFORMATION

インフォメーション



### 点字版「日赤News」が誕生しました

静岡県点訳赤十字奉仕団の皆さんより、点字版「日赤News」を作成・寄贈いただきました。

点訳赤十字奉仕団とは、点字の知識と技能を活かした奉仕活動を行っているボランティア団体です。視覚障がい者の方の生活支援のための点訳のほか、小学校の総合学習に関する授業、公共機関で行うイベントなどを通じて点字の普及にも努めています。

このたび作成いただいた点字版「日赤News」は今後、当院眼科外来などに設置予定。ぜひ手にとってご覧になってみて下さい。

表紙の点字は一字一文字、手で点訳します。



暮らしに役立つ情報をおとどけ

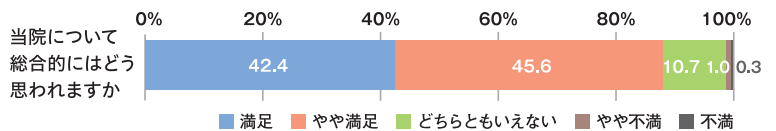
## しずおかクロス NAVI

### いっそう信頼される病院を目指して 外来患者アンケート集計結果のご報告

当院では医療サービスの向上を目的として、外来患者の皆様を対象としたアンケートを実施しております。本年も多くの皆様より貴重なご意見・ご要望をいただき、誠にありがとうございます。簡単ではございますが、ここにアンケート調査結果の一部をご報告いたします。またこのほか、自由記載欄ではあなたのお言葉をたくさんいただき、とても励みになりました。さまざまな指摘・ご意見は真摯に受け止め、改善に向けて努力してまいります。

今後も皆様から信頼される病院、社会に貢献できる病院を目指してまいります。何卒よろしくお願いたします。

#### ●その他全体的なことについて



調査日:令和4年11月14日(月)・11月15日(火) 調査対象:当日来院外来患者 有効回答数:609枚

#### ●職員の対応について

(満足5点、やや満足4点、どちらともいえない3点、やや不満2点、不満1点とし平均点を算出)

治療に関し、医師から詳しい説明を受けていますか **4.41**

医師の説明は、わかりやすいですか **4.44**

医師はあなたの話をよく聞いてくれますか **4.42**

医師には質問や相談をしやすいですか **4.30**

診察時間の長さは十分ですか **4.15**

診察室はプライバシーが守られていますか **4.45**